

| | |
|-------|-------------|
| 団体名 | ご近所ミニデイ ゆらり |
| 助成額 | 240,000 円 |
| 申請事業名 | ご近所ミニデイ ゆらり |

活動・事業報告

- 1 年間で計 42 回開催し、利用者の方は延べ 572 名、担い手は延べ 221 名が参加しました。なお、コロナウイルス感染拡大防止のため、3 月の開催は中止しました。
 - ①より一層楽しめてホッとくつろげる居場所作り、② 参加者の拡大、③ 運営体制の安定化、の3点を主にめざして、一年間取り組んできました。
- ①については、参加者の体調や介護度などのニーズも多様化する中で模索しながらの運営でしたが何とか実現できたと思います。
- ②については高齢による体調不良等で参加者の入れ替わりが若干あり、人数の拡大まではいきませんでした。新たな参加者を迎えて現状を維持することができました。
- ③については助成金をいただいたおかげで、資金面で大変安定した運営にすることができました。

助成金を受けての成果とその自己評価

- 資金に余裕ができたために、企画の内容の幅を大きく広げることができました。企画が充実したことに加えて、自分たちの活動の意義が認められたことも、参加者・担い手ともに喜んでいました。また、言うまでもなく、資金繰りの心配をする必要がなくなったことの安心感は、何よりも有難かったです。
- 企画関連では、主に①10月29日開催のハロウィンパーティと、②12月17日開催のクリスマス会の開催に助成金を充てさせていただきました。①は昨年も好評だった企画であり、夏以降やや減少気味だった参加者が15名（スタッフは除く）に回復する機会となりました。ハロウィンの衣装やデコレーションなどいつもの違った楽しさを味わうことができた、との感想を参加者の方から頂きました。②ではミニツリーなどの景品をお渡しすることができ、お一人暮らしの方が多参加者の皆様に、大変喜んでいただくことができました。

今後の活動の展望

- 今は活動休止中でいつから再開できるのかが見込めませんが、休止をやむなくされたことでかえって、定期的な通いの場が高齢者と担い手にとって持つ意義を深く考える機会になりました。
 - 高齢者の方にとって残された時間をどう過ごすのかは、担い手の私たちよりはるかに貴重なものだと思います。その時間を共有しながら、楽しい居場所として再度、新たなスタートをし、居場所を求めている新たな方と一緒に、豊かな時間とつながりを作っていきたいと思います。
 - 活動休止期間については通信類や電話等によりつながりを維持していくことを検討中です。
- (※記：2020年6月下旬より活動を再開しました)



ハロウィン



クリスマス会①



クリスマス会②



クリスマス会③

ビデオレターはこちらから

<https://youtu.be/cPSicXNhJhA>

